



vol.17

新潟工科大学
広報誌

2009.04.30

第15回工学部・第11回大学院工学研究科入学式



第15回工学部・第11回大学院工学研究科入学式が4月5日(日)、本学講堂において挙行政され、学部205名(3年次編入含む)、大学院工学研究科6名が入学しました。

布村成具学長が式辞で「初心の『夢と希望』を大切に、常に前進されることを心から期待します」と述べ、これに対し新入生代表の田村佳奈さん(環境科学科・新潟県立村上桜ヶ丘高等学校出身)と大学院新入生代表の小山和也さん(自然・社会環境システム工学専攻・本学情報電子工学科出身)がそれぞれ誓いの言葉を述べました。



【工学部】

機械制御システム工学科	57名
情報電子工学科	62名
環境科学科	38名
建築学科	48名
工学部計(3年次編入含む)	205名

【大学院工学研究科】

《博士前期(修士)課程》	
高度生産システム工学専攻	1名
自然・社会環境システム工学専攻	5名
大学院計	6名
合 計	211名

終了後、父母は学内で後援会総会と学長父母懇談会、学科別ガイダンスに出席し、新入生は柏崎市民プラザに移動して、同じ柏崎市にある新潟産業大学と合同の新入生歓迎会に出席しました。新入生歓迎会は市民と両大学の学生有志が、柏崎市、商工会議所、市内企業とが一体となり、柏崎で学園生活を送る新入生を歓迎しようと毎年開催しているものです。市民による楽器の演奏やゲームなどが行われ、盛り沢山の内容で新入生たちを歓迎していただきました。

このような盛大な会を催していただきました関係各位、並びに新入生を温かく迎え入れていただきました多くの市民の皆様方に厚くお礼申し上げます。

【関連URL http://www.niit.ac.jp/news/2009/04/post_102.html】



平成20年度卒業生就職内定率99.1%

平成20年度の就職状況について、上半期は平成19年度に引き続き、超売り手市場でしたが、下半期は米国の金融破綻に端を発する世界的な景気の減速により、一転して、大変厳しい状況となりました。しかし、本学では支援組織である「新潟工科大学産学交流会」や地元産業界のバックアップ等により、就職内定率は99.1%と、第一期生から毎年9割を超え、好調を維持しています。

	工学部			大学院			合計
	男	女	計	男	女	計	
卒業生数	210	14	224	17	1	18	242
就職希望者数 (就職希望率)	195 92.9%	14 100%	209 93.3%	17 100%	0 0%	17 94.4%	226 93.4%
就職内定者 (内定率)	193 99.0%	14 100%	207 99.0%	17 100%	0 0%	17 100%	224 99.1%
大学院合格者数	8	0	8	—	—	—	8

本学の取り組みが経済産業省の二事業に採択!

本学建築学科の富永禎秀教授が研究代表者を務めるプロジェクトが、経済産業省の平成20年度「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に採択されました。(全国で応募数117件のうち37件が採択となっています。)本事業では、新潟の自然と風土を活かした低炭素社会に向けた分散電源ネットワーク構築、自然エネルギーを活用した電気自動車及び車載型急速充電装置の開発と実証試験を行います。

また、本学の「地域密着型NIIT人間力育成事業」(下記概要図参照)が、同省の平成21年度「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」に新潟県内で初めて

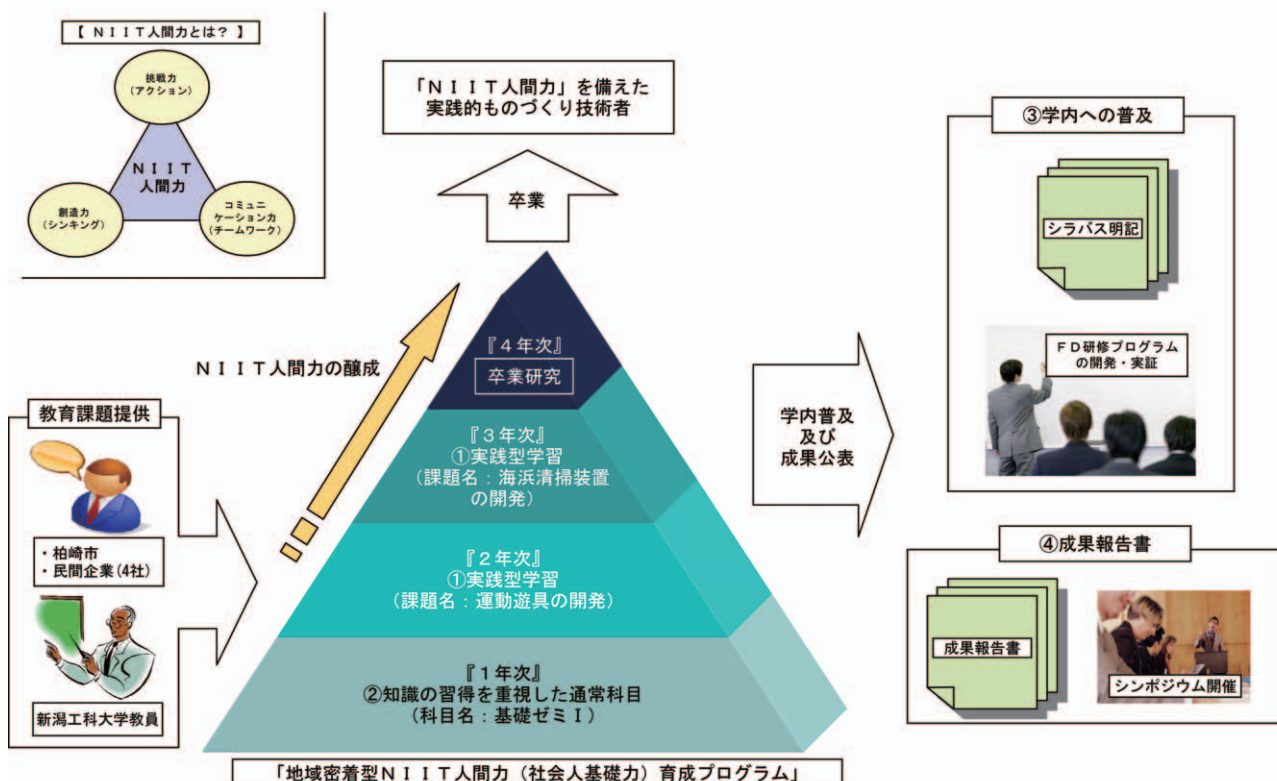
採択されました。本学では、「挑戦力」、「創造力」、「コミュニケーション力」の3つの柱から構成される「NIIT人間力」を策定し、地域産業界に貢献できる実践的技術者を育成しており、その教育プログラムが評価されたものです。具体的には、学生が地元企業等から協力を得ながら地域の課題を解決していく実習・講義が行われる予定です。(「海浜清掃装置の開発(協力企業等:プロスパー(株)、(株)北星製作所、(株)白川製作所、柏崎市)」、「運動遊具の開発(株)笑足ねっと、柏崎市)」)

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/03/post_92.html

http://www.niit.ac.jp/news/2009/04/post_101.html

「地域密着型NIIT人間力(社会人基礎力)育成事業」概要図



株式会社 CSコーポレーション

赤川 奈央さん

建築学科
2008年3月卒業

株式会社 CSコーポレーション
<http://www.cs-corporation.co.jp/index.html>



今回は新潟市にある株式会社CSコーポレーションに勤めている赤川奈央さんを訪ねました。

聞き手：お忙しい中、時間を取ってくださりありがとうございます。卒業して1年が経ちますが、すでに各地を飛び回りながら活躍している様子を他の卒業生たちからもよく聞きます。まずは、会社についてご紹介いただけますか？

赤川：弊社は主に商業施設と看板の企画、設計、施工をさせていただいている会社です。商業施設ですと、新潟ではビルボードプレイスのテナント工事から内装管理業務まで行っています。実は、工科大の正面入口の大きな看板も弊社の仕事だそうです。入社してから知り、驚きました。社員は約50人で、営業本部と業務管理部に分かれています。営業本部には、設計課、営業課、製作管理課があり、私は営業課に所属しています。あと、製作管理課には、工科大の先輩が2人もいるのでとても心強いですね。

聞き手：工科大入口の看板もそうでしたか。赤川さんもう工科大の仕事をやっていただける日が来るのかな？これまでの一年間どのような仕事をなさってきましたか？

赤川：まだ、1人で一件全ての仕事をしたことはありませんが、9月に仙台の泉プレミアムアウトレットの現場を担当しました。長野でワイナリーを運営している農場の直営店だったのですが、分からないことだらけで、とにかく現場を分かるようにならなければと、毎日必死でした。今は、主にリーシング営業を行っています。リーシング営業とは、商業施設にテナント誘致を行う業務です。その中でも特に、新潟駅南の再開発物件のチームで、色々な商売をされているお客様や、商業施設の方々と関わりながら、日々勉強させていただいています。

聞き手：本当にあちこち飛び回っていらっしゃいま

すね。仕事をする中で苦労したこととか達成感があったことなど、ありますか？

赤川：毎日が大変です。働くとはこんなに大変なことだったのかと、日々痛感しています。1日ごとに、今日も頑張ったという達成感がありますが、仕事を成し遂げたという達成感はまだありません。達成感よりも、自分の無力さを感じるばかりで、入社面接で大口を叩いていた自分が恥ずかしいです。

聞き手：まだ1年目ですから、学ぶことの方が多いということですね。これからどんな仕事をやっていきたいと思っていっぱいますか？

赤川：ゆくゆくは、商業施設やインテナントの設計デザインを出来る人間になりたいです。そのためには今は、現在携わっているリーシング業務を頑張っていきたいです。商売を営む人々に触れ、一緒に商売のことを考えられるような知識と教養、なによりも情報を熟知できるようにならなければ、商業施設の設計デザインなんて勤まらないと思います。なんて、上司の受け売りですけどね。

聞き手：では、最後にこれから大学に入学したり、社会に出る後輩に一言お願いします。

赤川：百聞は一見に如かず。何事にも言えることですが、やってみなければわかりません。ただ、何事にも臆することなく、自分が選んだ道を楽しもうというような気持ちをもつことが大切なかな。と思います。学校なんて、会社なんて、入ってみなきゃ分からないし、入って良かったと思うかどうかは自分次第なんですよね。なので、これからの将来に悩んでいる皆さん、悩むよりまず行動です…。



(聞き手：建築学科
准教授 田口太郎)



新任教員紹介

1月1日付けで機械制御システム工学科に門松晃司教授、4月1日付けで教養系（建築学科所属）に高田喜久司教授をお迎えしました。



機械制御システム工学科 教授

門 松 晃 司 『博士(工学)』

- 専 門：機械力学
- 研究テーマ：振動騒音
- 出 身 高 校：愛知県立明和高等学校
- 学 歴：名古屋大学工学部航空学科
- 経 歴：日産自動車(株)、
三菱自動車工業(株)
- 趣 味：ジャズ演奏・テニス

■コ メ ン ト：自動車メーカーで振動騒音開発に30年間携わってきました。エンジンバランサー、エンジンマウント、車体振動、車内騒音、乗り心地など乗員の快適性に関わるテーマが多くありました。今後の研究テーマは、振動騒音に関する『解析、CAE、問題解決』など、基礎から応用まで幅広く取り組むつもりです。自動車に限らず機械力学系の研究テーマがあれば声を掛けてください。



教養系 教授

高 田 喜久司 『教育学修士』

- 専 門：教育方法学、アメリカ進歩主義教育思想
- 研究テーマ：学習指導の理論と実践に関する研究
F.W.パーカー教育思想に関する研究
学力の本質と学力形成に関する研究
- 出 身 高 校：新潟県立長岡高等学校
- 学 歴：新潟大学教育学部
東京教育大学大学院修士課程

■経 歴：新潟県立小学校教員、新潟大学附属新潟小学校教諭、信州大学教育学部講師・助教授、上越教育大学助教授・教授、上越教育大学大学院教授、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程教授、放送大学大学院客員教授、上越教育大学附属小学校校長・上越教育大学学校教育センター長・上越教育大学評議員併任、上越教育大学理事・副学長

■趣 味：水泳、卓球、ウォーキング

■コ メ ン ト：大学生が幼児化してきた指標として、一般に「読まない、書かない、知ろうとしない、考えない、話せない」という「五ない症候群」とならんで、特に「質問しない」大学生事情が広がり、深まっていると指摘されて久しい。問うことを忘れた学生の実態が見られるのである。工科大生はいかなる実情にあるのだろうか。そもそも「学問」は文字通り、問（問い方）を学ぶ、あるいは学び方を問うことを意味する。「学問」と「問うこと」とは密接な関連がある。学問は問うことや疑問を持つことからスタートするのではなからうか。学習指導活性化の根幹も、「問いの復権」にあると考えている。キャンパス幼児化症候群を嘆くことなく、脱却をめざす教育・研究指導が一步でも進められれば…と思う。よろしくお願いいたします。

オープンキャンパスの日程が決定！



開 催 日：6月 6日(土)

7月25日(土)

9月13日(日)

時 間：10:30～15:30 ※3回とも共通

内 容：大学・学科紹介、キャンパス見学ツアー、模擬実験体験、入試ガイダンス、父母向けガイダンス、在学生相談ブース、学食体験(無料)など

申 込：電話・FAX・メール・インターネットにより、開催日の2日前までにお申し込みください。

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719

☎ 0120-8188-40 FAX 0257-22-8226

URL <http://www.niit.ac.jp/>

E-mail nyuushi@adm.niit.ac.jp

送迎バス：新潟、長岡、直江津、柏崎、十日町の各駅から無料送迎バスを運行します。

(関連URL http://www.niit.ac.jp/news/2009/04/post_103.html)



発行

新潟工科大学広報誌 第17号
平成21年4月30日
新潟工科大学入試広報委員会

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地

TEL.0257-22-8111 (代表)

FAX.0257-22-8112

E-mail: soumu@adm.niit.ac.jp

URL: <http://www.niit.ac.jp/>